

CONTENTS PICK UP

東映アニメーション株式会社 ブロードバンド・コンテンツ



http://www.anime-bb.jp/
見つけたら即アクセス!
東映アニメーションの名作や
最新の話題作がインターネットで
見放題!!

2005年
プレミアム配信



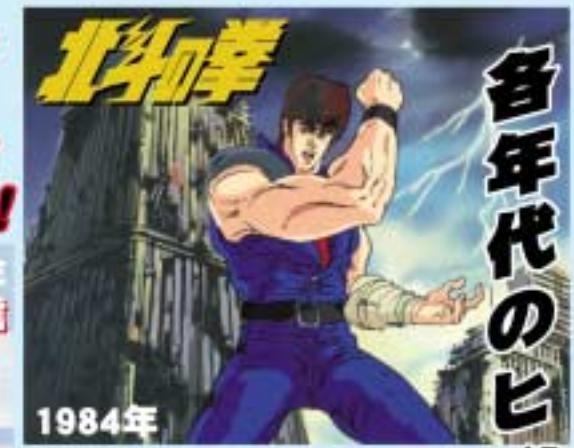
1982年



1973年



2004年



1984年



1978年



1993年

各年代のヒット作が
続々登場!



TOEI ANIMATION
Since 1956



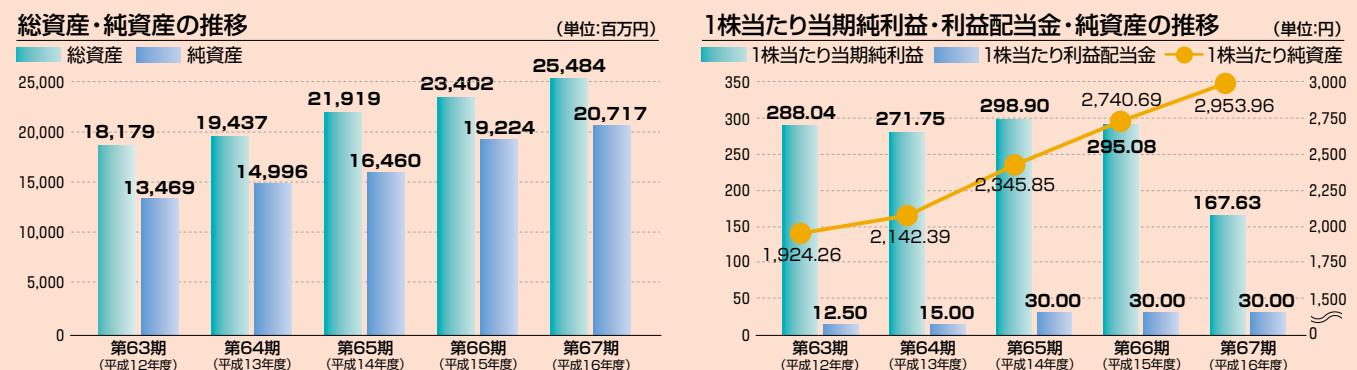
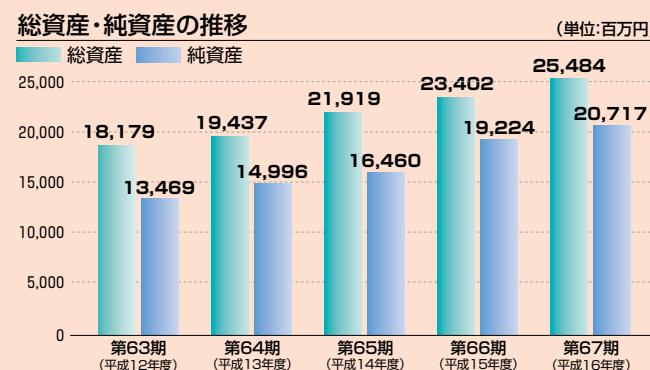
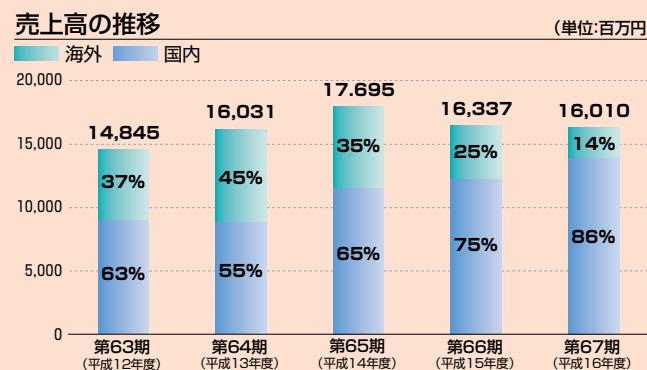
第67期 事業報告書

[平成16年4月1日～平成17年3月31日]

東映アニメーション株式会社

業績の推移

	売上高 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり当期純利益 (円)	1株当たり利益配当金 (円)	資本金 (百万円)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	1株当たり純資産 (円)
第65期 H.14.4.1～H.15.3.31	17,695	4,520	2,132	298.90	30.00	2,867	21,919	16,460	2,345.85
第66期 H.15.4.1～H.16.3.31	16,337	3,217	2,105	295.08	30.00	2,867	23,402	19,224	2,740.69
第67期 H.16.4.1～H.17.3.31	16,010	2,105	1,213	167.63	30.00	2,867	25,484	20,717	2,953.96



社会の変化に対応して、経営を革新する

株主の皆様におかれましては、ますます清栄のこととお喜び申し上げますとともに、平素のご支援に心から厚く御礼申し上げます。

今、アニメーション業界は、大きな変化の時代を迎えております。その中でも最も大きな変化が少子化です。子ども層はアニメーションビジネスの基本であるとともに、当社が最も得意とするターゲットです。少子化という非常に大きな問題に対して、当社は長年培ってきた経験とノウハウを基に、この分野における当社の地位をさらに磐石なものとするため、より一層注力していきます。

また、ファミリーからパーソナルへのテレビの視聴形態の変化等によりターゲットの細分化が進んでおります。当社は細分化された各ターゲットのニーズに合った作品を製作し、きめ細かな営業展開をしていきます。

一方、デジタル化による多媒體化・多チャンネル化により、アニメーション全体の視聴層が広がり、市場が拡大しております。市場の拡大は、当社の収益機会の拡大を意味する一方で、新たな競争相手の参入を促します。また、これまで明確に分かれていた出版、放送、製作、販売、商品化窓口、代理店業務など、業界内の

役割分担があいまいになることにより、それぞれの事業領域のボーダレス化を引き起こし、競争が激化しております。この激化する競争に勝ち残るため、当社は最も得意とする企画・製作力にさらに磨きをかけ、製作会社としての存在意義を今以上に確固たるものにしていきます。

海外に目を向けると、日本同様、デジタル化による多媒體化・多チャンネル化が進んでいるのに加え、日本製アニメーションに対する評価も非常に高まっており、市場は拡大し、作品のグローバル化が進んでおります。当社では「ドラゴンボール」や「デジモンアドベンチャー」等の実績の上に、さらにグローバル化を推し進めるため、平成16年度にはアメリカとフランスに現地法人を設立し、日本、アジア、北中南米、欧州を結ぶ強力なネットワークを築きあげました。今後は、作品の戦略的なグローバル展開を進めるとともに、海外の大手企業との合作・提携も視野に入れた、新しいビジネスモデルの構築に取り組んでいきます。

当社は来年50周年を迎えます。次の50年を見据え、このような変化に迅速かつ的確に対応できる経営基盤の強化が急務となっています。平成16年度には、製作本部制への移行、全社を統括する



代表取締役社長
TAKAHASHI HIROSHI
高橋 浩

代表取締役会長
TOMARI TSUTOMU
泊 懸

新基幹システムの導入等をすすめました。今後も企画・製作力、そしてグローバルな展開力のさらなる強化を図ります。

社会の変化に対応して、経営を革新する。当社は真のグローバルアニメーションカンパニーを目指して邁進していきます。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年6月

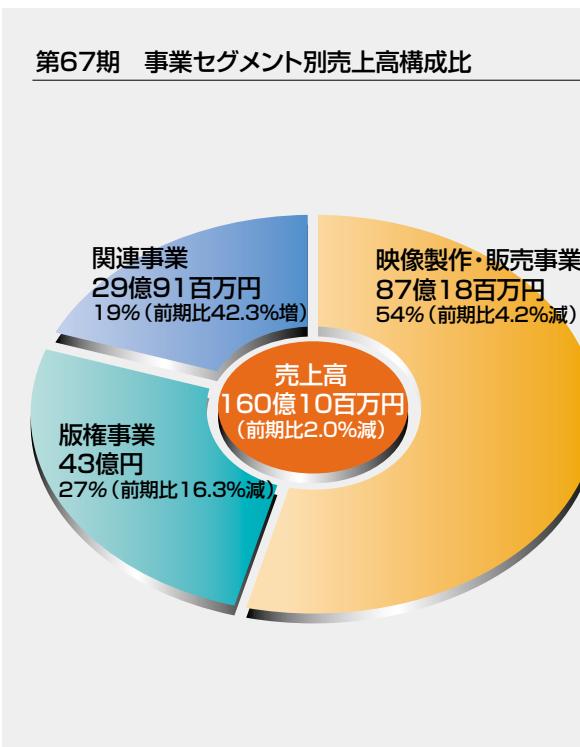
当期におけるわが国経済は、個人消費はおおむね横ばいだったものの、企業収益や雇用情勢が改善するなど、景気は緩やかに回復を続けてきました。

当社を取り巻く事業環境におきましては、国内ではアニメーションに関する注目が益々高まるとともに、ビジネスチャンスが拡大したものの、注目の高さゆえに競争は依然として激しく、またテレビ放送におけるアニメーションの視聴率が全体的に低いなど厳しい状況が続きました。海外でも日本のアニメーションに関する注目は高かったものの、大ヒットと呼べる作品はな

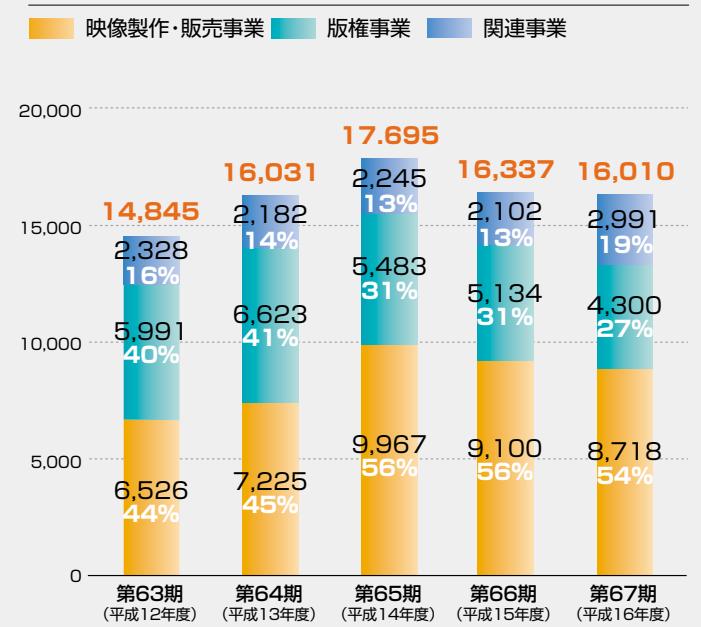
く、全体として厳しい状況が続きました。

こうしたなか、当社は国内で「ふたりはプリキュア」、「金色のガッシュベル!!」、「ワンピース」、海外で「ドラゴンボール」、「ワンピース」を主としたテレビ・劇場・DVD等への映像販売、キャラクター商品等のライセンス許諾を戦略的に事業展開いたしました。この結果、当期の売上高は160億10百万円(前期比2.0%減)となり、利益率の高い部門が減収となつた為、経常利益は21億5百万円(前期比34.6%減)、当期純利益は12億13百万円(前期比42.4%減)となりました。

第67期 事業セグメント別売上高構成比



第67期 事業セグメント別売上高構成比の推移 (単位:百万円)



映像製作・販売事業

劇場アニメ部門では、前期は「ワンピース」、「聖闘士星矢」の2作品を劇場公開いたしましたが、当期は「ワンピース」、「金色のガッシュベル!!」、「AIR」の3作品を劇場公開する等、前期に比べ公開作品数が増えたため、大幅な増収となりました。

テレビアニメ部門では、秋から新作テレビシリーズの放送作品数が増加したことに加え、「おじゃ魔女どれみナ・イ・ショ」のCS放送におけるペイパービュー放送や、フルCG作品の「デジタルモンスター・ゼヴォリューション」をテレビスペシャルで放送する等、作品ラインナッ



「ワンピースTHE MOVIE 呪われた聖剣」
平成16年3月劇場公開



「金色のガッシュベル!! 101番目の魔物」
平成16年8月劇場公開

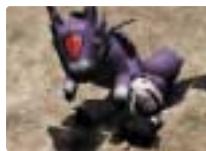


「おじゃ魔女どれみナ・イ・ショ」
スカイバーフェクTV!
ペイパービュー放送

プが充実したことにより、増収となりました。

パッケージソフト部門では、「ドラゴンボール」のDVD-BOXが好調に推移したものの、発売した作品数が前期に比べ少なく、減収となりました。海外では、「ワンピース」が北米放送開始により増収したもの、長期に亘り売上の大半を占めていた「ドラゴンボール」、「デジモンアドベンチャー」が大幅に減少したため、大幅な減収となりました。

以上により、当事業の売上高は87億18百万円(前期比4.2%減)となりました。



「デジタルモンスター・ゼヴォリューション」
平成17年1月放送



「ドラゴンボール DVD-BOX」
平成16年7月発売



「北米「ONE PIECE」」
平成16年9月～
FOX

版権事業

国内では、「ワンピース」が減少したものの、「ふたりはプリキュアシリーズ」が主力アイテムである玩具「カードコミューン」、「ハートフルコミューン」を中心に大ヒットし、また「金色のガッシュベル!!」も高いカード人気により売上が大幅に増加したことにより、増収となりました。海外では、「ドラゴンボール」、「デジモンアドベンチャー」が映像製作・販売事業と同様、大幅に減少し、これに替わる作品が伸びなかつたため、大幅な減収となりました。以上により、当事業の売上高は43億円(前期比16.3%減)となりました。



「ふたりはプリキュア カードコミューン」



「金色のガッシュベル!! THE CARD BATTLE」



「プレイステーション2用ソフト「ドラゴンボールZ3」」

関連事業

商品販売部門では、劇場公開作品のタイアップ商品等、非常に好調に推移したことにより大幅な増収となりました。

イベント部門では、「ふたりはプリキュア」の催事等が好調なことや、大口のアトラクション映像の受注があったものの、依然として厳しい事業環境により若干の減収となりました。教育部門では、「東映アニメーション研究所」の規模縮小にともない減収となりました。以上により、当事業の売上高は29億91百万円(前期比42.3%増)となりました。



「ふたりはプリキュア イベント」



「ワンピース キャンペーンフィギュア」



「東映アニメーション 研究所」

真のグローバルアニメーションカンパニーを目指して

アニメーション市場は、国内外でのデジタル時代の到来により、多チャンネル化・多メディア化が進み、コンテンツへの需要が高まっております。特に海外では、日本のアニメーションに対する需要が高まるとともに、その評価も向上しています。このようななか、当社は独自の強みを活かした戦略を遂行し、デジタル時代における「真のグローバルアニメーションカンパニー」を目指し、さまざまな取り組みを進めています。

世界4拠点体制を基盤に、東映アニメーショングループとして海外事業収益最大化を目指します。

東映アニメーションは、平成9年3月の香港現地法人、平成16年3月のアメリカ現地法人に続き、平成16年12月にフランスに現地法人を設立し、グローバルなグループ・ネットワークを構築しました。今後はグローバルな視点から、より直接的で、積極的かつ効率的な海外事業戦略を遂行することにより、海外事業収益の最大化を図ります。

海外事業戦略による強化ポイント

- 直接ビジネス
- 作品のグローバル展開
- 商品展開の拡大
- ターゲットの拡大
- マーケティングの強化
- コスト効率の向上

欧州市場において

西欧から東欧や中近東へと地域の拡大を図ります。

フランスなどで放送中の「ワンピース」をさらに拡大するとともに、「ふたりはプリキュア」などを新規に投入。また、現地法人のもと、今まで十分なフォローが出来ていなかった東欧地域や中近東地域などへの新規展開を図ります。



「ワンピース」
フランス・ドイツ他
「ふたりはプリキュア」
平成17年度投入予定

TOEI ANIMATION EUROPE S.A.S.

(欧洲・中近東地域の営業拠点：フランス・パリ)

アジア市場において

キャラクター商品を軸に事業の拡大を図ります。平成17年度は、台湾などで展開中の「ワンピース」「金色のガッシュベル!!」を、アメリカにおける好調の勢いに乗って、キャラクター商品展開を中心にさらに拡大していきます。

東映アニメーション

TOEI ANIMATION ENTERPRISES LIMITED

(東南アジア地域の営業拠点：香港)



「ワンピース」
台湾・韓国他
「金色のガッシュベル!!」
香港・台湾他

合作・提携

海外展開の基本戦略は日本向けに製作した作品の輸出です。今後は、これに加えて、海外市場に向けた作品を海外の大手企業とともに合作・提携を通じて製作していきます。



TOEI ANIMATION INCORPORATED

(北中南米地域の営業拠点：アメリカ・ロサンゼルス)

北米市場において

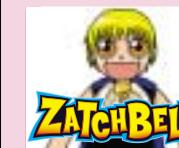
好調な新規作品を継続投入し、さらなる躍進を図ります。

平成17年3月から放送開始した「金色のガッシュベル!!」、そして平成17年4月に拡大放送を開始した「ワンピース」の視聴率が現在絶好調。懸案だった新規タイトルの投入が軌道に乗り始めました。既存タイトルの「ドラゴンボールGT」の視聴率も高く、秋からは「ボボボーボ・ボーボボ」の放送が開始になるなど、放送ラインナップを充実。効果的なDVD・商品化展開を進め、北米市場でのさらなる躍進を図ります。



DIGIMON
Digital Monsters

「デジモンティマーズ」
JETIX
火-木、土、日) 20:30



ZATCH BELL!
「金色のガッシュベル!!」
CARTOON NETWORK
土) 21:30 日) 16:30
金) 24:00



「ワンピース」
FOX 土) 11:00
CARTOON NETWORK
土) 22:00



「ボボボーボ・ボーボボ」
CARTOON NETWORK
10月放送開始予定



「ドラゴンボールGT」
CARTOON NETWORK
月-木) 22:30

特集 真のグローバルアニメーションカンパニーを目指して

常にヒット作を創り出す「企画製作力」と
日本最大・世界有数の「作品保有量」を活かし、
リーディングカンパニーとしてさらなる飛躍を図ります。

最大注力分野

当社が最も得意な分野は、子ども・ファミリー向けのTVアニメと劇場アニメです。平成17年度も、大ヒット作「ふたりはプリキュア MaxHeart」を筆頭に、人気作品を繰り出していく予定です。



「金色のガッシュベル!!」
日)9:00 フジテレビ系



「冒険王ピト」
木)18:30 テレビ東京系



「映画 ふたりはプリキュア MaxHeart」
平成17年4月16日劇場公開



「ワンピース」
日)19:00 フジテレビ系



「ボボボーボ・ボーボボ」
土)10:50 テレビ朝日



「ふたりはプリキュア MaxHeart」
日)8:30 ABC・テレビ朝日系



「劇場版 金色のガッシュベル!! メカバリカンの来襲」
平成17年8月6日劇場公開予定

チャレンジ分野

急激な伸びをみせるインターネットでの新作アニメの配信や、新しい映像表現「画ニメ」、人気マンガの実写映画製作など、積極的に新しいメディア・新しいジャンルに挑戦していきます。



当社初のインターネット配信信用新作アニメ
「イリヤの空、UFOの夏」
「Fantascope: Iriya no Sora, UFO no Natsu」
2006年2月劇場公開予定



新しい映像表現=画ニメ
「Fantascope: 最終兵器彼女」
「最終兵器彼女」
2006年2月劇場公開予定



当社初の実写映画
「最終兵器彼女」
2006年2月劇場公開予定

企画製作力
作品保有量

- 優秀なクリエイター陣
ハイビジョンに対応した製作システム
高速製作ネットワーク網
- 日本最大・世界有数の作品群
TVシリーズ153作品
劇場200作品 約8,600本

活性化分野

当社が半世紀にわたり創り出してきた、数多くのヒット作品群。その魅力はいまなお衰えることなく、輝き続けています。コンテンツの需要が拡大する中、さまざまなメディアで、過去のヒット作品群を活性化することにより、収益の拡大を図ります。



「東映アニメBB」
懐かしいアニメがインターネットで見放題
<http://www.anime-bb.jp/>



CS、BS、CATV
アニメックス・東映チャンネルなどで放送中
「ドラゴンボールGT DVD-BOX」
¥50,000(税抜)
平成17年6月発売

東映アニメNOW

女の子たちの間で大人気! ●ABC・テレビ朝日系 [日] 8:30~9:00

東映アニメオリジナル作品「ふたりはプリキュア MaxHeart」



2004年度は記録的な大ヒット

当社オリジナル作品の「ふたりはプリキュア」(平成16年2月~)は、放送開始当初から女の子を中心として子どもたちの心をつかみ、高視聴率を獲得し続けました。その人気はキャラクター商品に飛び火し、品切れ店が続出する社会現象化。その結果、平成16年の年間全おもちゃ売上ランキング(ゲーム除く)で1,2位を独占しました。

また、東京国際アニメフェアでは、アニメアワードのTV部門で、優秀作品賞を受賞するなど、一大ブームを巻き起こしました。

11億!!
プリキュア国内版権累計売上



イベント会場

第1位
2005年6月5日調べ
4-6歳の男女の視聴率で
全アニメ番組中



58%!!
4-6歳の女の子を対象とした最高視聴率



1,2位
フィニッシュ!!
カードコミュニケーション(60万個)
プリティコミュニケーション(20万個)



ハートフルコミュニケーション 50万個突破

タッチコミュニケーション 36万個突破

2年目も絶好調

まだまだ続くプリキュア人気。 冬に劇場第二弾の公開が決定!

2年目に入り、作品タイトルが「ふたりはプリキュア MaxHeart」になってからも、高視聴率を維持。新キャラクターの「シャイニールミナス」も大人気で、作品の人気は益々盛り上がっております。平成17年4月には劇場公開作品が、大ヒット。早くも平成17年12月の映画第二弾公開が決定するなど、大ヒット街道を駆進中です。



映画ポスター



キュアブラック



シャイニールミナス



キュアホワイト

連結財務諸表

連結貸借対照表(平成17年3月31日現在)

資産の部	
科目	金額
流動資産	17,567,244
現金及び預金	12,461,934
受取手形及び売掛金	3,496,696
たな卸資産	1,007,647
繰延税金資産	109,169
その他	504,024
貸倒引当金	△12,228
固定資産	10,739,747
有形固定資産	3,226,799
建物及び構築物	935,873
機械装置及び運搬具	11,920
土地	2,153,114
その他	125,891
無形固定資産	336,148
ソフトウェア	335,004
電話施設利用権	1,143
投資その他の資産	7,176,798
投資有価証券	6,916,381
その他	316,717
貸倒引当金	△56,300
資産合計	28,306,991

(注) 1. 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

2. 有形固定資産の減価償却累計額 791,904千円

負債の部	
科目	金額
流動負債	3,862,482
支払手形及び買掛金	2,686,456
未払法人税等	265,032
賞与引当金	174,709
その他	736,283
固定負債	1,262,888
退職給付引当金	512,873
役員退職慰労引当金	158,490
繰延税金負債	549,355
その他	42,169
負債合計	5,125,370
少数株主持分	
少数株主持分	253,998
資本の部	
資本金	2,867,575
資本剰余金	3,409,575
利益剰余金	15,400,211
株式等評価差額金	1,363,969
為替換算調整勘定	△110,308
自己株式	△3,400
資本合計	22,927,622
負債、少数株主持分及び資本合計	
28,306,991	

連結損益計算書(平成16年4月1日から平成17年3月31日まで) (単位:千円)

科目	金額
経常損益の部	
営業損益の部	
営業収益	16,646,923
売上高	16,646,923
営業費用	14,404,391
売上原価	11,797,371
販売費及び一般管理費	2,607,020
営業利益	2,242,531
営業外損益の部	
営業外収益	362,931
受取利息	10,111
受取配当金	34,524
持分法による投資利益	238,389
雑収入	79,905
営業外費用	3,787
支払利息	13
雑支出	3,774
経常利益	2,601,675
特別損益の部	
特別損失	54,832
投資有価証券評価損	34,373
事務所移転費用	19,179
貸倒引当金繰入額	1,280
税金等調整前当期純利益	2,546,842
法人税、住民税及び事業税	822,376
法人税等調整額	123,676
少数株主利益	47,477
当期純利益	1,553,312

(注) 1. 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

2. 1株当たり当期純利益 216円33銭

連結剰余金計算書(平成16年4月1日から平成17年3月31日まで) (単位:千円)

科目	金額
(資本剰余金の部)	
資本剰余金期首残高	3,409,575
資本剰余金期末残高	3,409,575
(利益剰余金の部)	
利益剰余金期首残高	14,105,399
利益剰余金増加高	1,553,312
当期純利益	1,553,312
利益剰余金減少高	
配当金	210,000
役員賞与	48,500
(うち監査役賞与)	(2,600)
利益剰余金期末残高	15,400,211
連結キャッシュフロー計算書	
(平成16年4月1日から平成17年3月31日まで) (単位:千円)	
科目	金額
営業活動によるキャッシュフロー	628,287
投資活動によるキャッシュ・フロー	△350,956
財務活動によるキャッシュ・フロー	△210,746
現金及び現金同等物に係る換算差額	△25,475
現金及び現金同等物の増加額	41,108
現金及び現金同等物の期首残高	12,420,826
現金及び現金同等物の期末残高	12,461,934

単体財務諸表

貸借対照表(平成17年3月31日現在)

資産の部	
科目	金額
流動資産	16,334,633
現金・預金	11,182,714
受取手形	43,925
売掛金	3,563,064
商品	18,657
製作品	116,000
仕掛品	755,392
貯蔵物品	59,062
前払費用	24,377
短期貸付金	297,296
繰延税金資産	100,999
その他の流動資産	186,646
貸倒引当金	△13,503
固定資産	9,149,701
有形固定資産	3,026,570
建物	741,866
構築物	7,626
機械装置	4,972
工具器具備品	83,239
土地	2,153,114
建設仮勘定	35,750
無形固定資産	336,023
ソフトウェア	334,880
電話施設利用権	1,143
投資その他の資産	5,787,107
投資有価証券	5,200,882
子会社株式	263,647
長期貸付金	90,318
差入保証金	96,408
その他の投資	190,200
貸倒引当金	△54,350
資産合計	25,484,334

(注) 1. 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

2. 子会社に対する短期金銭債権 375,855千円

子会社に対する長期金銭債権 77,318千円

子会社に対する短期金銭債務 91,587千円

3. 有形固定資産の減価償却累計額 681,277千円

4. 重要なリース資産

貸借対照表に計上した固定資産のほか、リース契約により使用している重要な固定資産として、アニメ製作用コンピューター機器、事務用コンピューター機器ならびにその周辺機器があります。

5. 商法施行規則第124条第3号に規定する純資産額は1,157,788千円であります。

負債の部	
科目	金額
流動負債	3,694,960
支払手形	164,251
買掛金	2,454,928
未払金	159,012
未払法人税等	220,750
前受金	283,754
預り金	224,286
賞与引当金	158,333
その他の流動負債	29,643
固定負債	1,071,806
退職給付引当金	489,071
役員退職慰労引当金	158,490
繰延税金負債	382,075
その他の固定負債	42,169
負債合計	4,766,766
資本の部	
資本金	2,867,575
資本金	2,867,575
資本剰余金	3,409,575
資本準備金	3,409,575
利益剰余金	13,282,858
利益準備金	94,500
任意積立金	2,900,000
別途積立金	2,900,000
当期末処分利益	10,288,358
株式等評価差額金	1,157,788
自己株式	△ 228
資本合計	20,717,567
負債及び資本合計	25,484,334

損益計算書(平成16年4月1日から平成17年3月31日まで) (単位:千円)

科目	金額
経常損益の部	
営業損益の部	
営業収益	16,010,595
売上高	16,010,595
営業費用	13,994,944
売上原価	11,776,866
販売費及び一般管理費	2,218,077
営業利益	2,015,651
営業外損益の部	
営業外収益	91,879
受取利息及び配当金	53,248
雑収入	38,630
営業外費用	1,881
支払利息	13
雑支出	1,868
経常利益	2,105,648
特別損益の部	
特別損失	54,682
投資有価証券評価損	34,373
事務所移転費用	19,179
貸倒引当金繰入額	1,130
税引前当期純利益	2,050,966
法人税、住民税及び事業税	752,194
法人税等調整額	85,312
当期純利益	1,213,458
前期繰越利益	9,074,899
当期末処分利益	10,288,358

(注) 1. 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

2. 子会社との取引高

売 上 高 594,223千円

仕 入 高 693,274千円

営業取引以外の取引高 2,992千円

3. 1株当たり当期純利益 167円63銭

利益処分 (単位:円)

科目	金額
I 当期末処分利益	10,288,358,468
これを次のとおり処分いたします。	
II 利益処分額	
利益配当金	209,998,440
1株につき 30円	
役員賞与金	40,000,000
(うち監査役賞与金)	(2,600,000)
任意積立金積立額	
別途積立金	300,000,000
合計	549,998,440
III 次期繰越利益	9,738,360,028

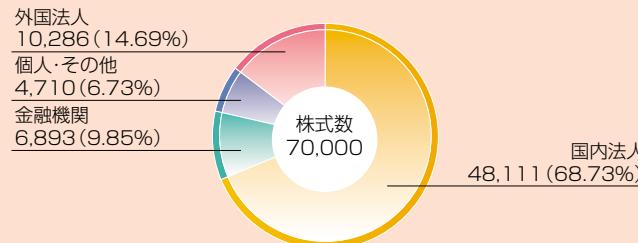
(注) 配当金は、自己株式52株分を除いて計算しております。

会社概要／株式の状況

株式の状況 (平成17年3月31日現在)

発行済株式総数	7,000,000株
株主数	1,442名

所有者別株式分布状況(百株) (平成17年3月31日現在)



株価・出来高の推移



著作権表示

©雷句誠・小学館・フジテレビ・澤井啓夫・集英社・テレビ朝日・電通・尾田栄一郎・ABC・三条陸・稻田浩司・テレビ東京・ビット製作委員会・「2004ワンピース」製作委員会・劇場版「金色のガッシュベル!!」製作委員会・東京いづみ・ナショ製作委員会・本郷あきよし・デジモンCGプロジェクト・バードスタジオ・2005, Cartoon Network, Toei Animation, & Aniplex. All Rights Reserved. "The Powerpuff Girls" and all related characters and elements are trademarks of and copyrighted by Cartoon Network. 2005 映画ふたりはプリキュアM製作委員会・劇場版「金色のガッシュベル!!」製作委員会2005・2004 YOSHITAKA AMANO・タカハシしん・秋山瑞人・メディアワークス・ハピネット・ピクチャーズ・武論尊・原哲夫・Coamix・鳥山明・松本零士・井上雄彦・アイティーブランニング・東映アニメーション

会社概要 (平成17年3月31日現在)

商 号 東映アニメーション株式会社
 英 文 社 名 TOEI ANIMATION CO., LTD.
 本 社 〒178-8567 東京都練馬区東大泉二丁目10番5号
 TEL 03-3978-3111(代表)
 新宿オフィス 〒162-0831 東京都新宿区横寺町58番地
 東映アニメーション研究所 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台一丁目2番5号 駿河台ビル
 従 業 員 数 256名
 上 場 市 場 JASDAQ(コード:4816)
 ホームページ <http://www.toei-anim.co.jp>

株主優待制度

- 贈呈基準に500株以上を追加いたしました。
- 2004年度までは、新作アニメーション1枚、旧作アニメーション1枚(各1,000円)を1セットにしてお送りしていましたが、2005年度は新作2枚、旧作2枚(各500円)を1セットにしてお送りいたします。
- 2005年度の新作につきましては、株主優待限定の描きおろしのデザインとなります。

所有株式数

優待内容

- | | |
|-----------|------------------------|
| 100株以上 | 2,000円相当のキャラクターQUOカード |
| 500株以上 | 4,000円相当のキャラクターQUOカード |
| 1,000株以上 | 6,000円相当のキャラクターQUOカード |
| 5,000株以上 | 10,000円相当のキャラクターQUOカード |
| 10,000株以上 | 20,000円相当のキャラクターQUOカード |



旧作 わんぱく王女の
大蛇退治



新作 ワンピース



新作
ふたりはプリキュア
MaxHeart



旧作 アラビアンナイト
シンバッドの冒險

株式事務のご案内

商 号 東映アニメーション株式会社
 証 券 コ ー ド 4816
 決 算 期 毎年3月31日
 定 時 株 主 総 会 毎年6月に開催いたします。
 基 準 日 每年3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
 利 益 配 当 金 每年3月31日現在の株主または登録質権者にお支払いいたします。
 名 義 書 換 代 理 人 東京都港区芝三丁目33番1号
 中央三井信託銀行株式会社
 同 事 務 取 扱 所 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 (お問い合わせ郵便物送付先) 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
 電話 (03)3323-7111(代表)
 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店
 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店
 公 告 方 法 日本経済新聞に掲載いたします。
 貸 借 対 照 表 および
 損 益 計 算 書 掲 載 の
 ホームページアドレス <http://www.toei-anim.co.jp/corporate/ir/>

お知らせ

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求、配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は名義書換代理人のフリーダイヤル0120-87-2031で24時間受付しております。

最新の情報は当社IRページで

当社では適時情報開示を目的としてIRページを開設しております。決算説明会の映像や詳細な定量データなど、日々情報の充実に努めております。また、IR情報及びプレスリリースのメール配信の登録／削除を受け付けております。



<http://www.toei-anim.co.jp/corporate/ir/>